

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月23日更新

事務事業名	市民センター維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智
	施策	10	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名	鍋田 将文
	施策の柱	39	生涯学習施設(環境)の整備	所属班	生涯学習班	(内線)	1505
予算科目	会計一般	款10	項5	目3	事業番号10827	根拠法令	合志市民センター条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<p>施設利用者が各市民センター(御代志・黒石・須屋・泉ヶ丘)及び野々島公民館を快適に利用できるように維持管理を行う。施設の多くは、経年劣化が進んでいる。については、中長期計画に基づき改修を行う必要がある。維持管理・運営について指定管理制度等も検討していく。</p> <p>平成28年度は熊本地震被害のため、御代志市民センター講堂の天井の修繕をおこなった 平成28年11月～野々島公民館解体(野々島防災センター建築のため)をおこなった 平成30年3月 野々島市民センター建築をおこなった 平成30年 御代志市民センター非常用自家発電機改修をおこなった 平成31年3月 須屋市民センター体育館空調設備設置をおこなった 令和元年8月 須屋市民センターグラウンド防球ネット設置をおこなった 令和2年度 黒石防災拠点センター建築をおこなった 令和2年度～ みどり館が高齢者支援課より生涯学習課へ移管され、市民センターになる予定。 令和2年度 旧黒石市民センター解体予定 解体後は体育館をスポーツ振興班へ移管</p>
【業務の流れ】	<p>①消耗品補給、蛍光灯・電灯交換、輪転機インク、マスター、洗剤等消耗品補充 ②保守管理(電気設備、コピー機、自家発電、消防用設備、貯水槽、空調、エレベーター、自動ドア、樹木管理、清掃業務等) ③施設の修繕・工事 ④避難所用品の備蓄 ⑤管理員・受付事務員等の配置</p>
【主な予算費目】	報酬、需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費)、役員費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、備品購入費
【意見や要望】	<p>市民が快適に利用できるよう、老朽化施設については早急な改修及び建替えが求められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉ヶ丘・御代志・須屋市民センターの空調設備の経年劣化(いつ故障してもおかしくない状況) ・照明機器のLED化(蛍光灯・水銀灯の製造中止により、交換が困難になっている) ・躯体の老朽化

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
空調機械保守点検業務委託、清掃管理業務委託、施設予約端末保守業務委託、券売機保守業務委託、自家発電設備保守点検委託、電気工作物保守点検業務委託、建築設備定期検査業務委託、特殊建築物検査業務委託、昇降機保守点検業務、自動ドア保守点検業務委託、貯水槽保守点検業務委託、機械警備業務委託、来客用マットリース、シュレッダーリース、券売機リース、消防用設備修繕等を行った。須屋市民センターグラウンド防球ネット設置工事を発注し、完了した。	空調機械保守点検業務委託、清掃管理業務委託、施設予約端末保守業務委託、自家発電設備保守点検委託、電気工作物保守点検業務委託、建築設備定期検査業務委託、機械警備業務委託、昇降機保守点検業務委託、来客用マットリース、シュレッダーリース、券売機リース、各施設修繕、
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 市民センター維持管理事業にかかる経費	千円: 会計年度任用職員へ制度変更による報酬及び期末勤労手当等の増。【拡充事業】黒石市民センターの移転により旧黒石市民センターの解体による工事費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
市民、市外からの通勤・通学者	→ ア: 利用者 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
生涯を通じて学習を行っている	→ ア: 生涯を通じて学習を行っている人の割合(市民アンケート) %
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠	
施設管理上の不具合が少なければ、それだけ環境が整備された施設を提供できたことになるから	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0	

各指標・総事業費の推移	単位	29年度	30年度	31年度	31年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 千円	77,981	92,476	86,927	0	112,245	80,000	80,000	80,000	
② 対象指標	ア 人	168,484	211,910	170,000	187,053	200,000	200,000	200,000	200,000	
③ 成果指標	ア %	27.2	20.7	35	0	35	35	35	35	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円	21,700	32,100			21,900		
		その他	千円	10,732	10,427	9,458	9,107	10,446	10,000	10,000
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	45,549	49,949	77,469	67,535	79,899	90,000	90,000
		(A) 事業費計	千円	77,981	92,476	86,927	76,642	112,245	100,000	100,000
		(A)のうち指定経費	千円	14,396	18,695	19,285	19,080	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	2	3	6	2	2	2
延べ業務時間	時間	0	1,080	1,100	2,024	1,100	1,100	1,100		
(B) 人件費計	千円	0	4,257	4,382	8,021	4,382	4,382	4,382		
トータルコスト(A)+(B)	千円	77,981	96,733	91,309	84,663	116,627	104,382	104,382		

事務事業名	市民センター維持管理事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 施設の劣化に伴い今後様々な不具合が予想される。
	②2年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 経年劣化により躯体が古くなり施設上の不測のトラブルが起きやすい状態だから
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 御代志・泉ヶ丘・須屋市民センターは躯体・設備の劣化が見られるため、改修工事が必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似施設は他にもあるため、一括した管理を行うことができる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 物件費の内訳は、施設管理委託料や各公共料金、修繕費であり、光熱水費に関しては、利用者の協力により節約に努めている。必要最小限の計上をしているので、これ以上の削減は難しいと思われる。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 夜間、土日・祝日は管理人を配置して必要最小限の管理を行っており、その報酬を低く抑えているため、削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 施設利用の市民には、受益者負担の原則に従い、施設の維持管理の一端を担っていただくため施設利用料及び冷暖房使用料の負担をいただいているが、10年以上改正されていないため、見直しの余地あり。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 指定管理制度の導入も検討余地がある

3 評価結果の総括 (CHECK)

建設当初に導入した設備をそのまま使用しており、故障した場合、製造が終了しているものが多く修繕ができない場合があるので設備更新を行う必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>各市民センターの保全計画を実施し、計画的な改修を行っていく必要がある。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						